

平成29年度 中部ブロック防犯ボランティアフォーラム 北一社学区セーフティ・パトロール隊(名東区) が活動発表を行いました。

平成29年6月24日(土)、石川県金沢市の金沢流通会館において、警察庁主催「中部ブロック防犯ボランティアフォーラム」が開催されました。

防犯ボランティア活動の活性化を目的とするこのフォーラムでは、中部6県から選ばれた4団体が活動内容を発表するとともに、団体と会場の参加者によるグループディスカッションが行われました。

愛知県からは、名古屋市名東区の北一社学区セーフティ・パトロール隊が発表団体に選ばれ、同団体が取り組んでいる「防犯カメラ設置と防犯意識啓発による犯罪抑止」について発表を行いました。

<北一社学区セーフティ・パトロール隊による発表>

テーマ：防犯カメラ設置と防犯意識啓発による犯罪抑止

発表者：北一社学区セーフティ・パトロール隊

顧問 宮地 賢二 氏

広報 鷺見 憲文 氏

発表概要：

- ・ 隊員が設置工事を行い、民地設置・民地電源利用で、防犯カメラ設置費用1か所約5万円を実現。反射素材による「光る看板」を設置し、防犯カメラの存在をアピール。
- ・ 住民向け防犯教室を開催しているほか、登録住民にベスト等を貸出し、着用で地域の目をアピールする「お散歩パトロール」を行い、地域一体の防犯に取り組んでいる。
- ・ 花の手入れ時に登下校の見守りや通行者への挨拶で警戒活動を行う「花咲かせ隊」を結成。地域の目を強化。



<北一社学区セーフティ・パトロール隊の概要>

平成20年に活動開始。平成23年には、愛知県警察の「住宅街における防犯カメラ設置モデル事業」に協力し、この事業と並行して学区で住民ワークショップを開催し意見交換を行った結果、モデル事業終了後は、学区で防犯カメラの設置に取り組むこととし、毎年防犯カメラを増設している。

防犯カメラ設置をきっかけとして、犯罪の未然防止はもちろん、住民の防犯意識の向上、防犯活動への参加による地域の連帯感の醸成に取り組んでいる。

